

## 2012年度 学部共同研究会一覧

回 / 日 時	テーマおよび報告者
第1回 (4月27日)	「復興計画をめぐる諸論点—東日本大震災、阪神・淡路大震災から東京都区部の事前復興へ—」 吉川 忠寛氏 (株式会社 防災都市計画研究所代表取締役・所長)
第2回 (5月17日)	「現代日本におけるフォト・ジャーナリズムの可能性：東日本大震災に直面して」 渋谷 敦志氏 (フォトジャーナリスト)
第3回 (6月20日)	'Earnings and the Ethnic Enclosure of Neighborhoods, Workplace, and Industrial Sectors' Eric Fong 氏 (カナダ・トロント大学社会学部教授)
第4回 (7月3日)	＜院生報告＞ 「コーポレートガバナンスから見た業務執行の適切性について」 西村 毅氏 (社会学研究科博士後期課程)
第5回 (7月13日)	「自らのチカラで歩めるその日まで『あなたの5年後』想う支援—仙台市復興支援における生活支援事業と就労支援事業の同時展開の可能性と課題—」 菅野 拓氏 (一般社団法人パーソナルサポートセンター企画調査室長)
第6回 (7月19日)	「東アジアの社会政策：その可能性と比較の方法論」 李蓮花氏 (滋賀大学経済学部リスク研究センター特任准教授) コメンテーター：安周永氏 (京都大学法学研究科助教)
第7回 (7月27日)	＜私の研究＞ 「初期テレビジョン技術の社会史—その今日的意義について」 飯田 豊氏 (産業社会学部准教授) 「日本の地上放送デジタル化：開始から完了まで」 金山 勉氏 (産業社会学部教授)
第8回 (7月31日)	＜グローバル公共性研究会＞ 立命館大学人文科学研究所主催 「グローバル化時代の福祉国家再編：その政治学的分析の可能性」 加藤 雅俊氏 (産業社会学部准教授) コメンテーター：近藤 康史 (筑波大学人文社会系准教授)
第9回 (9月13日)	＜グローバル公共性研究会＞ 立命館大学人文科学研究所主催 「コスモポリタン民主政：方途と主体」 ダニエル・アーチブージ (イタリア国立研究評議会教授、ロンドン大学パークベック校兼任教授)
第10回 (10月1日)	「ボート・シュトラウス作『カラデヴァイ・ファルス』—女性たちがやってくる！」 Henry Thorau 氏 (ドイツ・トリア大学教授)
第11回 (10月30日)	＜私の研究＞ 「ドッジ・ライン下の日産自動車の人員整理」 吉田 誠氏 (産業社会学部教授) 「スポーツマーケティング・マネジメント研究の展望と課題」 中西 純司氏 (産業社会学部教授)

第12回（11月27日）	<私の研究> 「進化と宗教：内村鑑三の場合」 住家 正芳氏（産業社会学部准教授） 「地域別に見た貧困率・保護率・捕捉率」 唐鎌 直義氏（産業社会学部教授）
第13回（11月28日）	「英米自由主義における行為と公共性：経済学の展開から」 松波 京子 氏（名古屋大学大学院経済学研究科研究員） 田中 啓太 氏（名古屋大学大学院経済学研究科特別研究員） 西本 和見 氏（名古屋大学大学院経済学研究科助教） コメンテーター：長尾 伸一氏（名古屋大学大学院経済学研究科・教授）
第14回（12月7日）	「秘密基地アオモリーオスプレイ問題も含めてー」 斉藤 光政氏（ジャーナリスト・東奥日報編集委員）
第15回（2月8日）	「韓国大都市の低所得層における生活問題の変貌」 朴 仁淑（社会学研究科博士後期課程）
第16回（3月23日）	「電子図書のユニバーサルデザイン化と社会創造：DAISYの現在」 河村 宏氏（国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所特別研究員・NPO法人支援技術開発機構理事長）